

# お笑いタレントに関するリサーチデータ

朝日大学マーケティング研究所

## 調査概要

調査方法 Webアンケート  
調査期間 2005年2月10日(木)～2月15日(火)  
調査対象 首都圏在住の12歳～49歳男女  
有効回答 1,593名  
普段、テレビのお笑い番組を見ている人に限定

(内訳)

	人数
12～19歳女性	228
20～34歳女性	247
35～49歳女性	226
12～19歳男性	309
20～34歳男性	355
35～49歳男性	228
合計	1593

調査項目 質問1. 好感度・認知度  
「好き」  
「どちらとも言えない」  
「好きではない」  
「知らない」  
  
質問2. 出演期待度  
「内容・他のタレントに関わらず必ず見たい」  
「内容・他のタレントがよければ見たい」  
「どちらかと言えば見たい」  
「どちらかと言えば見たくない」  
「見たくない」

# 1. 若手タレントの出演期待度、認知度、好感度 (全体)

下記は、最近、出演回数が増えてきた若手お笑いタレントを中心に58名をピックアップし、出演期待度(算出方法は調査概要をご参照)についてランキングしたものである。あわせて、認知度、好感度を記載している。最も出演を期待されているのは「ヒロシ」(32.0%)であり、認知度(95.1%)、好感度(57.3%)とも高い。一方、「レギュラー」、「スピードワゴン」、「ロバート」など、認知度、好感度はあまり高くないが、出演期待が上位にランクされるタレントもみられる。お笑いの場合、出演期待は、必ずしも好感度に相関しているわけではない。

順位	所属	タレント名	期出 待演 度	認 知 度	順 位	好 感 度	順 位
1	サンミュージック	ヒロシ	32.0	95.1	3	57.3	1
2	人力舎	ドラクドラゴン	30.7	84.6	16	49.1	2
3	吉本興業	陣内智則	27.7	85.3	15	43.4	7
4	人力舎	アンジャッシュ	26.6	76.5	21	40.6	10
5	ワタナベエンターテイメント	波田陽区	26.3	98.0	2	44.5	6
6	人力舎	アンタッチャブル	25.8	88.9	10	47.2	3
7	吉本興業	インパルス	25.7	85.4	14	45.2	4
8	吉本興業	レギュラー	25.1	60.6	28	26.5	21
9	-	バベツマベツ	24.2	92.6	7	45.0	5
10	ワタナベエンターテイメント	アンガールズ	23.2	88.7	11	41.0	9
11	ホリプロコム	スピードワゴン	22.6	60.5	29	24.6	25
12	ワタナベエンターテイメント	いつもここから	22.1	80.9	18	41.6	8
13	吉本興業	フットボールアワー	21.0	62.0	27	26.7	20
14	吉本興業	ロバート	20.4	56.8	31	19.8	28
15	ホリプロコム	ホリ	19.9	69.2	25	28.7	17
15	吉本興業	笑い飯	19.9	45.4	34	16.9	29
17	吉本興業	ペナルティ	19.4	68.1	26	26.2	22
18	吉本興業	南海キャンディーズ	18.0	37.4	40	12.6	34
19	タイタン	長井秀和	17.2	94.5	5	35.8	13
20	太田プロ	インスタントジョンソン	16.3	42.8	36	14.0	32
21	吉本興業	麒麟	16.2	39.4	38	12.9	33
22	吉本興業	友近	15.5	90.6	9	37.3	12
22	人力舎	北陽	15.5	78.7	20	32.1	15
24	サンミュージック	カンニング	15.2	91.7	8	33.2	14
25	太田プロ	劇団ひとり	15.0	94.0	6	31.6	16
26	吉本興業	POISON GIRL BAND	14.8	21.2	52	5.4	46
27	吉本興業	トータルテンボス	14.5	20.5	53	4.7	52
27	ホリプロコム	バナナマン	14.5	37.3	41	9.5	37
29	吉本興業	ネゴシックス	14.4	30.6	43	7.3	42
30	吉本興業	タカアンドトシ	13.7	26.6	44	7.3	42
31	松竹芸能	安田大サーカス	13.3	84.6	16	25.1	24
32	吉本興業	キングコング	13.2	74.9	23	26.0	23
32	松竹芸能	ますだおかだ	13.2	80.3	19	24.3	26
34	吉本興業	次長課長	12.7	46.1	33	12.5	35
35	吉本興業	中川家	12.5	95.0	4	28.6	18
36	人力舎	おぎやはぎ	12.2	75.6	22	27.5	19
37	サンミュージック	さくらんぼブービー	12.1	22.6	51	4.9	49
37	吉本興業	だいたひかる	12.1	86.1	12	23.8	27
39	ワタナベエンターテイメント	マイケル	10.6	72.8	24	14.7	31
40	マセキ芸能社	ホーム・チーム	10.1	23.7	48	5.1	48
41	吉本興業	ハローケイスケ	10.0	23.0	50	4.9	49
42	トゥインクル・コーポレーション	エレキコミック	9.9	40.5	37	9.0	39
43	ホリプロコム	江戸むらさき	9.8	39.2	39	9.4	38
44	吉本興業	\$10	9.5	15.4	56	3.1	54
45	吉本興業	ビッキーズ	8.8	23.7	48	5.9	45
46	吉本興業	佐久間一行	8.7	14.3	58	2.6	56
47	ワタナベエンターテイメント	青木さやか	8.4	98.4	1	37.7	11
48	吉本興業	チャイルドマシーン	8.0	18.7	54	3.2	53
48	吉本興業	ハリガネロック	8.0	37.2	42	6.4	44
50	吉本興業	千鳥	7.9	25.1	46	4.9	49
50	吉本興業	チュートリアル	7.9	25.9	45	5.4	46
52	吉本興業	2丁拳銃	7.7	48.4	32	8.8	40
53	吉本興業	FUJIWARA	7.3	43.6	35	7.6	41
54	吉本興業	なかやまきんに君	6.8	86.0	13	14.9	30
55	松竹芸能	オジソズボン	6.7	18.2	55	2.4	57
56	松竹芸能	アメリカザリガニ	5.9	57.7	30	10.5	36
57	吉本興業	ロザン	4.6	14.5	57	1.5	58
58	吉本興業	アップダウン	4.5	25.1	46	2.8	55

## 2. 若手タレントの出演期待度（属性別比較）

下表は、出演期待度を属性別に比較したものである。全体では、あまり高くないが、「南海キャンデーズ」、「麒麟」、「トータルテンボス」、「次長課長」などは、12～19歳女性でランクを上げている。「インスタントジョンソン」、「ネゴシックス」、「安田大サーカス」などは12～19歳男性で上位に位置している。

順位	所属	タレント名	全体	11 92 歳 女 性	32 40 歳 女 性	43 95 歳 女 性	11 92 歳 男 性	32 40 歳 男 性	43 95 歳 男 性
1	サンミュージック	ヒロシ	32.0	31.6	29.8	37.8	34.7	28.0	30.1
2	人力舎	ドラクドラゴン	30.7	34.1	28.4	29.2	35.2	26.5	30.6
3	吉本興業	陣内智則	27.7	34.4	17.8	23.5	36.2	28.5	24.7
4	人力舎	アンジャッシュ	26.6	31.4	21.1	26.7	33.4	24.9	20.4
5	ワタナベエンターテイメント	波田陽区	26.3	21.5	29.4	30.7	22.9	22.4	31.0
6	人力舎	アンタッチャブル	25.8	25.8	21.5	18.7	38.1	28.1	21.8
7	吉本興業	インパルス	25.7	31.4	21.4	20.5	33.2	22.8	24.0
8	吉本興業	レギュラー	25.1	22.6	21.5	18.7	27.8	28.3	33.4
9	-	パペットマペット	24.2	29.9	20.6	27.7	24.5	20.4	21.5
10	ワタナベエンターテイメント	アンガールズ	23.2	29.5	21.8	17.2	28.2	21.7	19.7
11	ホリプロコム	スピードワゴン	22.6	26.4	23.0	22.0	29.3	18.5	13.2
12	ワタナベエンターテイメント	いつもここから	22.1	26.1	20.3	15.5	29.0	17.9	24.0
13	吉本興業	フットボールアワー	21.0	23.5	16.6	22.9	22.6	23.3	16.0
14	吉本興業	ロバート	20.4	29.0	19.3	14.2	28.8	13.2	14.6
15	ホリプロコム	ホリ	19.9	20.9	13.5	20.9	23.1	21.1	20.8
15	吉本興業	笑い飯	19.9	17.0	13.3	14.3	29.6	22.3	22.9
17	吉本興業	ベナルティ	19.4	21.7	17.1	11.9	27.5	21.7	13.1
18	吉本興業	南海キャンディーズ	18.0	30.0	20.6	9.2	9.9	20.0	9.7
19	タイタン	長井秀和	17.2	14.0	12.7	13.3	23.2	17.6	23.0
20	太田プロ	インスタントジョンソン	16.3	16.9	13.2	8.4	27.1	11.2	15.7
21	吉本興業	麒麟	16.2	26.2	16.8	5.3	16.7	13.6	12.5
22	吉本興業	友近	15.5	14.5	19.1	16.4	15.4	11.3	16.3
22	人力舎	北陽	15.5	23.9	15.1	14.3	13.7	11.4	13.6
24	サンミュージック	カンニング	15.2	14.2	12.4	11.1	22.6	15.3	16.2
25	太田プロ	劇団ひとり	15.0	17.5	14.2	9.2	19.0	17.9	12.2
26	吉本興業	POISON GIRL BAND	14.8	22.8	17.4	3.0	15.8	10.5	12.3
27	吉本興業	トータルテンボス	14.5	27.1	13.6	0.6	10.4	19.0	8.4
27	ホリプロコム	バナナマン	14.5	16.5	11.5	15.5	11.9	18.9	8.8
29	吉本興業	ネゴシックス	14.4	19.5	7.7	5.6	25.2	12.7	7.8
30	吉本興業	タカアンドトシ	13.7	17.6	14.2	2.1	16.8	12.6	9.6
31	松竹芸能	安田大サーカス	13.3	10.3	8.5	5.1	21.4	18.4	16.3
32	吉本興業	キングコング	13.2	22.7	9.4	6.4	17.5	11.4	9.4
32	松竹芸能	ますだおかだ	13.2	17.6	11.3	8.3	16.1	15.9	9.6
34	吉本興業	次長課長	12.7	24.6	14.2	5.2	9.6	11.5	6.3
35	吉本興業	中川家	12.5	7.9	5.2	13.5	18.1	15.6	15.4
36	人力舎	おぎやはぎ	12.2	12.6	16.2	7.3	14.4	12.1	9.7
37	サンミュージック	さくらんぼブービー	12.1	17.8	14.1	5.9	8.9	20.7	0.5
37	吉本興業	だいたひかる	12.1	10.5	11.8	10.8	9.7	17.3	12.6
39	ワタナベエンターテイメント	マイケル	10.6	17.4	6.1	8.6	15.6	5.9	8.4
40	マセキ芸能社	ホーム・チーム	10.1	16.1	10.5	0.7	12.0	11.2	3.0
41	吉本興業	ハローケイスケ	10.0	9.2	15.7	7.3	8.8	10.5	9.7
42	トゥインクル・コーポレーション	エレキコミック	9.9	13.6	8.5	3.2	12.8	10.9	5.4
43	ホリプロコム	江戸むらさき	9.8	20.1	3.2	5.1	12.5	9.8	2.5
44	吉本興業	\$10	9.5	19.2	10.5	11.2	6.8	6.8	0.6
45	吉本興業	ビッキーズ	8.8	13.0	6.0	0.0	11.3	10.6	3.4
46	吉本興業	佐久間一行	8.7	2.8	9.2	0.0	12.6	18.8	3.0
47	ワタナベエンターテイメント	青木さやか	8.4	8.6	8.0	9.3	6.5	7.9	10.4
48	吉本興業	チャイルドマシーン	8.0	10.5	6.0	0.0	7.1	14.5	7.8
48	吉本興業	ハリガネロック	8.0	8.7	6.5	5.2	8.9	12.9	3.3
50	吉本興業	千鳥	7.9	8.1	7.3	0.0	7.6	13.3	6.2
50	吉本興業	チュートリアル	7.9	10.3	12.4	12.3	4.4	7.1	0.9
52	吉本興業	2丁拳銃	7.7	13.7	7.0	6.1	6.5	7.0	5.2
53	吉本興業	FUJIWARA	7.3	11.4	8.2	1.6	8.0	4.4	8.8
54	吉本興業	なかやまきんに君	6.8	5.4	3.9	5.6	11.6	9.7	5.2
55	松竹芸能	オゾンオズボン	6.7	9.2	12.1	1.3	6.4	8.1	0.0
56	松竹芸能	アメリカザリガニ	5.9	11.9	2.5	3.7	5.0	7.2	3.4
57	吉本興業	ロザン	4.6	6.6	0.0	0.0	6.2	7.2	4.4
58	吉本興業	アップダウン	4.5	8.0	5.7	1.4	2.8	7.5	2.2

多数の若手お笑いタレントがバラエティ番組に登場し、「お笑い」という強力なコンテンツを形成している。「お笑いブーム」の中、一つの番組構成要素となっているお笑いタレントを視聴者がどう評価しているかを、番組への出演期待度と好感度という尺度で分析した。

「番組で必ず見たい」と思うお笑いタレントは、必ずしも好感度が高いタレントとは限らない。視聴者がそのお笑い番組を見たいと思うかどうかは、単に、自分が好きなタレントであるかどうかというより、今まで見てきたお笑い実績（コント、ギャグなど）によって「このお笑いタレントが出演するなら外れがない」、「楽しませてもらえる」という一定の評価が期待できるかどうかで決まる。

中でも、注目したいのは12～19歳層の動向である。12～19歳層では、バラエティ番組に出演し始めたお笑いタレントにいち早く着目している。そのため、他の層よりも、今後、期待される若手お笑いタレントの名前が挙がってくる可能性が高く、全体での出演期待はそれほど高くないが、12～19歳で上位にランクされるタレントがみられる。

今後、お笑いタレントの起用に際しては、単にタレントの好感度、すなわち、人気によって判断するのではなく、過去の番組から視聴者にどの程度の期待感を与えているかを考慮する必要がある。但し、その期待感、時間の経過とともに変化するし、同じコンテンツでは、いずれ「飽き」がやってくる。常に、視聴者からの期待感を測定し、お笑いタレント起用の尺度とすることが効果的であると思われる。

## トピックスリサーチ

### お笑いタレントに関するリサーチデータ

---

発行日 2005年2月25日

---

発行・調査分析 朝日大学 マーケティング研究所  
〒460-0002  
愛知県名古屋市中区丸の内3-21-20  
朝日丸の内ビル2F  
TEL : 052-961-4576

---

お問い合わせ [apost@dance.ocn.ne.jp](mailto:apost@dance.ocn.ne.jp)